国立病院機構弘前病院広報誌

まほろば

Hirosaki National Hospital

病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第102号

2010年1月発行

新年のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

昨年は日本中が新型インフルエンザに翻弄されました。患者数がピークを過ぎたとはいえ、未だ終息したわけではなく、引き続き警戒が必要です。また、行政や医療体制の整備、ワクチン増産体制の確立などの必要性を強く感じた１年でした。

弘前市内では、シャッターの閉まった店の方が多い商店街もみられ、不況をヒシヒシと感じています。ほかにも、暗い話題や事件が続きましたが、本年は明るい話題が増える事を願っています。

さて、今年の２月竣工予定の病棟の建替は１年以上遅れており、４月頃に本体工事の入札になりそうです。時間をかけた分、より快適な病棟が誕生することを期待しています。

また、ＤＰＣの導入に向けて今年は、準備病院に応募する予定です。院内の勉強会、クリティカルパスの作成・改訂等の作業をしながら職員がＤＰＣに向かって、一つになることが大事であると思います。

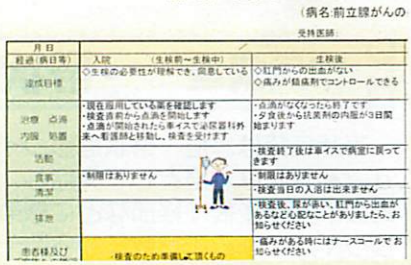
今年も医療環境の厳しい１年になるかと思いますが“患者さんに喜ばれる医療・病院”をめざして研鑽に努め、地域医療に貢献していきたいと思っております。本年もよろしくお願い致します。

院長　　佐藤　年信

【クリティカルパス大会】

クリティカルパス大会を11月30日開催しました。パス作成と使用促進を目標に進めて1年半、やっとパス大会までこぎつけたという思いです。パス大会の参加者は58名、病院全体が動き出していると言ってはおおげさでしょうか。

パス大会の内容は、①パス展示は、「これぞ優秀」というものに投票してもらい最優秀、優秀、入賞を決定し景品を用意しました。②講演は、パスについての再確認と内容の充実を見据えたバリアンス収集について行いました。③バリアンス収集は、グループワークおこない体験を通し共有しました。バリアンス収集をどのように行うかだけではなく、使用しているパス自体の問題点や改善点にも気づくことができ、パスの見直しや新しいパス作成に意欲を感じました。



入院診療計画書

前立腺生検を受けられる方へ

（病名:前立腺がんの

受持医師:

月日	/	/
経過(病日等)	入院　（生検前～生検中）	生検後
達成目標	◇生検の必要性が理解でき、同意している	◇肛門からの出血がない ◇痛みが鎮痛剤でコントロールできる
治療　点滴 内服　処置	・現在服用している薬を確認します ・検査当前から点滴を開始します ・点滴が開始されたら車イスで泌尿器科外来へ看護師と移動し、検査を受けます	・点滴がなくなったら終了です ・夕食後から抗菌剤の内服が3日間始まります
活動		・検査終了後は車イスで病室に戻ってきます
食事	・制限はありません	・制限はありません
清潔		・検査当日の入浴は出来ません
排泄		・検査後、腹が痛い、肛門から出血があるなど心配なことがありましたら、お知らせください
患者様及び	・検査のため準備と説くもの	・痛みがある時にはナースコールでお知らせください

パスが、弘前病院の医療の質の向上に繋がっていく機会となることを願いつつ、来年もパスに熱い思いをこめて進めていきたいと思います。

クリティカルパス委員会副委員長
副看護部長　岡本　弘子

【新しい年に　－2010年寅年－】

平成22年（2010年）、今年の干支は「寅」。この「寅」は、「螾」（＝動く）で、春が来て草木が発生する状態を表しているそうです。また、「虎（寅）」は、「西に白虎」というように、中国の伝説では西方を守護する神獣とされています。

「甲斐の虎」といえば戦国武将武田信玄、「越後の虎」といえば上杉謙信、その強さや豪傑ぶりを表す代名詞としても「虎（寅）」はしばしば使われます。変わったところでは、「虎は千里往って千里還る」ということわざから、寅の日には出戻りを忌むということで、婚礼等を避ける風習もあったそうです。

さて、「寅（虎）」といえば、肉食類の中でも猛々しい、強い、といったイメージがありますが、その「強さ」故、骨や内臓は漢方薬として用いられ、美しい毛皮を得るためや、害獣駆除という理由からも乱獲が進み、20世紀に入ってからは３亜種（バリトラ、ジャワトラ、カスピトラ）が絶滅しました。現在は、保護のため自然保護区を指定したり、積極的な保護対策が行われています。

今年「寅年」の一大様は、百沢の虚空蔵様「求聞寺」です。奉られている虚空蔵菩薩は、福・徳・知恵を授け、開運・縁結びの御利益があるそうです。

今年一年、皆様にとってますます良い年になりますように。

入院係　工藤　真淑

☆ＢＦＨだより☆ “おいしいおっぱいをあげよう”（第２部）
～おばあちゃん・おじいちゃんのやさしい言葉かけがお母さんの支えです～

「母乳」はなんといっても、赤ちゃんへの最高のプレゼントです。最も心強いのはおばあちゃんの「子育てには母乳が一番よ！」、「何度も吸わせていると母乳は出るようになるのよ！」の一言です。出産後しばらくはお母さんの心はとても傷つきやすくなっています。「母乳が足りないんじゃない？」、「そんなに泣いてかわいそうよ」などの不安にさせるような言葉は、お母さんから自信を奪っていきます。なるべくお母さんの子育てを応援するようなアドバイスをお願いします。

生後３週、６週、３ヶ月頃は赤ちゃんが急成長する時期で、よく泣くことがあります。これは母乳不足ではないので、ほしがるままにあげてください。そして、この時期は抱っこが大好きです。しっかり抱っこされた赤ちゃんは、脳に様々な刺激が与えられるので、運動や認知機能の発達もよいと言われています。たくさん抱っこしてあげてください。

当分は、大人の生活に赤ちゃんを合わせようとするのではなく、赤ちゃんにお母さんが合わせてあげましょう。赤ちゃんが寝たらお母さんも横になりましょう。なるべくお祝いの訪問は短時間にしていただくよう、ご家族の方が配慮してくださると助かります。

私達も母乳育児を応援しますので、ご家族の方には広い心でお母さんと赤ちゃんを温かく見守ってあげてほしいと思います。

母子医療センター　助産師　田澤　咲子
助産師　横山　純子

「リーダー研修発表会」―（看護教育委員会）

11月26日（木）リーダー研修発表会を大会議室で行いました。リーダー研修発表会は、自己の役割の認識、指導的立場として看護チームの活性化、リーダーシップを発揮することを達成目標にして、各自が課題に取り組んできた状況や結果をポスターセッション形式で発表しました。

今回は、外来、病棟、中央手術室の９名が、業務改善・看護学生の実習指導・事故防止に関することなど、日常の看護実践場面を通してスタッフに働きかけながら実践し各部署が活性化され変化していく過程をポスターにまとめて伝えていました。

フロアーからの質問や意見も活発にだされ、皆が一緒に考える場になったと思います。発表を行った研修生は、「研修課題に取り組む過程でスタッフの協力があったことが支えとなった。」周囲に働きかけ、全体で取り組むことが変化を生み出す力になることを実感できていました。

それぞれがリーダーシップを発揮でき、今後の活躍が楽しみです。日常の看護を考える良い機会となる発表会ですので、次回は是非、発表をご覧下さい。

東３病棟看護師長　寺嶋　美由貴

市民講座　～帯状疱疹について～

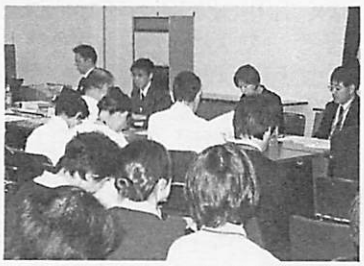
帯状疱疹は水痘・帯状疱疹ウイルスによる感染症です。初感染は水痘として発症し、その治癒後に三叉神経節や脊髄後根神経節などに感染します。水痘帯状疱疹ウイルスはここで数年から数十年以上にわたり生体の免疫学的監視機構の下、不活性化の状態で潜伏感染を続けます。さまざまな誘因（過労・ストレスや老化、外傷や悪性腫瘍、自己免疫疾患、重症感染症などの疾患、免疫抑制薬や抗腫瘍薬などの薬剤、放射線療法など）によりウイルスが再活性化し、再び知覚神経を伝わって所属の表皮細胞に回帰感染し帯状状疱疹として発症します。

一定の神経支配領域に一致して皮疹が帯状に配列し、神経痛様の疼痛を伴うことが特徴です。一般には３週間前後で治癒する予後良好な疾患です。しかし、後遺症として帯状疱疹後神経痛が残ることがあります。

抗ウイルス薬による原因療法が治療の主体となった現在では、早期に診断し早期から抗ウイルス剤を中心とした適切な治療を開始することが大切です。

皮膚科医長　佐藤　正憲

【 病院立ち入り検査 】



11月20日、医療法第25条第1項に基づく弘前保健所による病院立ち入り検査が実施されました。

立ち入り検査は病院が法令で規定された人員及び構造を有し、適正な管理のうえで、適正な医療を行っているかを検査するため年１回行われ、今回、山中弘前保健所長はじめ６名の監査官が来院されました。

昨年度、職員健康診断で未受診者についての指摘があり、今年度は全職員受診を目標に取り組んだところ、結果は受診率100％となり今回は良好な評価をいただきました。

今回の立ち入り検査における各職場のご協力に感謝いたします。

庶務係長　高橋　卓雄

外来診療一覧

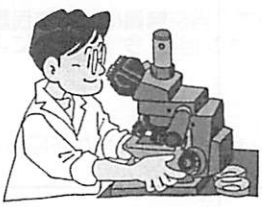
◆外来医師診療一覧表（2010年1月4日現在）

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		人見博康	人見博康	人見博康	人見博康	人見博康
呼吸器科		山本勝丸	中川英之	中川英之	山本勝丸	中川英之
		下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子	下山亜矢子
消化器・血液内科		山口公平	週毎に交替で担当 ①吉谷／松木 ②松木／山口 ③山口／吉谷	山口公平	山口公平	－
		吉谷元		松木明彦	吉谷元	松木明彦
		佐藤年信	－	佐藤年信	－	佐藤年信
小児科		野村由美子	野村由美子	杉本和彦	野村由美子	野村由美子
		杉本和彦	佐藤工	八木弘子	佐藤工	杉本和彦
外科		田澤俊幸	高橋克郎	横山昌樹	横山昌樹	三上勝也
		三上勝也	三上勝也	田澤俊幸	高橋克郎	横山昌樹
整形外科	午前	柿崎寛	柿崎寛	秋元博之	秋元博之 又は 大鹿周佐	柿崎寛
		大鹿周佐	能見修也	大鹿周佐	木村由佳	秋元博之
		浅利享				
	午後	－	－	－	－	柿崎寛
脳神経外科		－	－	木村正英	－	－
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
		佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲
	午後	●予約	●手術	●予約	●手術	●予約
泌尿器科		大和隆	大和隆	大和隆	大和隆	大和隆
産婦人科		真鍋麻美	片桐清一	真鍋麻美	●妊婦検診 （一般外来休診）	片桐清一
		柞木田礼子	小笠原智香	小笠原智香		柞木田礼子
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子	黒田令子	●手術 （一般外来休診）	黒田令子	黒田令子
		二井一則	二井一則		二井一則	二井一則
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	－	－	川口英夫 （午後）	－	－
麻酔科		●手術	●手術	●手術	工藤明	●手術
女性専用外科		杉本菜穂子（※予約制／第1・第3火曜日午後診療）				
セカンドオピニオン		－	－	－	今充	－

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

【シリーズ】臨床検査のＡＢＣ　病理検査（１）：病理組織学的検査について

病理検査とは、病変組織の一部を用いて肉眼では見えない細胞・組織の変化をミクロのレベルでとらえ診断する検査です。検査対象によって病理組織学的検査（組織診断）と細胞検査（細胞診断）に分類されますが、病理解剖も病理検査の一部を担っています。



病理組織学的検査（組織診断）は、病変部より得られた組織を、顕微鏡を用いて病理診断を行います。組織を採取する方法には、内視鏡や手術などによる場合や注射針を使う場合があります。採取された組織は、腐敗を防ぎ組織構築を保つために固定液に浸します。

固定液には主に10％ホルマリン液（無色透明の液体ですが刺激臭があります）が使用されます。次に、検査室では、固定された組織の水分を取り除き、溶かしたロウに埋め込み冷やし固めて、厚さ数ミクロンの標本を作製しスライドガラスに貼り付け染色します。組織を青紫色と濃淡のある桃色に染め分けるヘマトキシリン・エオジン（ＨＥ）染色が基本染色です。その他に目的に応じた様々な特殊染色が施行されます。その標本を病理医が顕微鏡で観察し、病的変化の有無や良性・悪性などの診断をします。なお、腫瘍に限らず炎症性病変や代謝疾患の診断も可能です。

次回は細胞検査についてお話します。

副臨床検査技師長　濱中　貴久子

厨房よもやまばなし？　その②『お手元まで15分!?』

栄養管理室では、今年も冬期間限定の『みそラーメン』・『マグロ漬け丼』・『海鮮丼』と食材費を度外視？したメニューを展開中です。そこで、今回はウラ話の続編をご紹介させて頂きます。

まずは、みそラーメン！当院の代表的メニューとして君臨し、早2年が経ちました。。。このみそラーメンで一番苦労したのは、メンの選定です。のびない集団給食用メンでは、ラーメン本来の味がありません。おいしい！のびない！しかも生メンで！ということにこだわりました。

厨房でラーメンを仕上げて、患者さんの手元に届くまでの最大時間を試算して、15分という力べを設定しました。大体おいしいラーメンでは10分を過ぎると急激にのび始めます。そして【粉の配合やちぢれ、太さの微妙な調整で20分まで耐える試作品】をメーカーと共同開発しました。立案から提供まで実に半年を要しました。先日も「おいしいですよ。集団給食でラーメンはスゴイ！」とのお声をかけて頂き、万感の思いでした。

「たかがラーメン、されどラーメン」ですが、是非！当院自慢のみそラーメンをご賞味頂きたいです。今後も皆様に喜ばれる食事を展開します。また、次回の厨房よもやまばなしもお楽しみに！

栄養管理室長　篠島　良介

【クリスマスおゆうぎ会―風の子保育園】

12月16日（水）病院内の機能訓練室で風の子保育園の3～6歳の12名の園児による、クリスマスおゆうぎ会を行いました。

たくさんの入院患者、病院の職員、看護師姿の母親の前で「今日は、みなさんを元気づけるために慰問にやってきました」と年長児4名で大きな声のあいさつ。

年中・年長児は格好よく、いさましく「じょんがらまつり」。年少児はポンポンを持って飛んだり跳ねたりの、「陽はまた昇る」。それぞれリズムをとって体いっぱい表現して踊りました。

全員でかわいい中華帽をかぶり、みんなの大好きな「ラーメン体操」を元気にすると、園児のかわいい動作に、看護部長も笑顔でノリノリ。

津軽伝承の手あそびで「いちべえさん♪」や、かぞえうた「いちじく、にんじん♪」とうたうと、昔を懐かしんで手拍子でうたっている入院患者の姿に、園児たちも大満足でした。

最後に食育活動としていつも保育園でうたっている「栄養のうた」を大合唱。楽しく栄養をとり、丈夫な体を作りましょうと願いをこめて、元気いっぱいに歌いました。

会場の皆さんと、とても楽しい時間を過ごすことができました。寒い中、お集まり頂きまして、ありがとうございました。

風の子保育園　園長　　諏訪　栄子

【ふるさと紹介】◇秋田県羽後町◇

秋田県の南部に位置する羽後町は「緑と踊りと雪の町」といわれ、人口約1.7万人の周囲を山々に囲まれたのどかな田舎まちです。

なんと言っても有名なのが「西馬音内（にしもない）盆踊り」でしょう。といっても私が紹介した方々の中では知らない方のほうが多かったかもしれませんが…。阿波踊り、郡上踊りと合わせて日本三大盆踊りと称され、毎年8月16日から18日までに開催される幻想的な伝統行事です。豊年祈願や盆供養のために始められたとされ、亡者を思わせる彦三頭巾、編み笠を深くかぶり、美しい端縫い衣装の女。かがり火の中、にぎやかに鳴り響く囃子の音。「ニュースステーション」の生中継で全国的に有名になってしまい、小さな会場にあふれんばかりの人だかりで、ゆっくりと堪能できなくなってしまいました。それから、蕎麦通には知られた蕎麦の町でもあります。定番は「冷やがけそば」、冷たいかけ蕎麦で、寒い冬でも冷やがけが当たり前に食されます。

食べ物では、お米、羽後牛、スイカの産地で、特に最近は「うご米」が飛ぶよう売れているとか。西又葵をはじめとした各イラストレーターの萌え系イラストの美少女パッケージが大人気で、手に入れることが難しいくらいの人気商品だそうです。

1年に1度くらいしか足を運ばなくなった近くて遠いわがふるさとを紹介させていただきました。

庶務班長　豊田　篤

【今月の川柳】

★【川柳募集】あなたの川柳をお待ちしています。

※ 広報誌編集委員会で選出した作品を掲載いたします。

お　知　ら　せ

※毎月、第4水曜日地域医療研修センターにおいて、当院職員による市民講座を開催しております。参加は自由ですので、ぜひ参加下さい。1月27日(水)は、セカンドオピニオン担当 今 充 先生による「医師と患者のコミュニケーション～セカンド・オピニオンをとおして～」の予定です。

◆ **患者相談窓口**

『患者相談室』のMSW（メディカルソーシャルワーカー）が対応していますので、ご気軽にお尋ね下さい。

発行元 独立行政法人国立病院機構弘前病院
Hirosaki National Hospital
責任者　臨床研究部長　泉井　亮
〒036－8545　弘前市大字富野町1番地
TEL0172-32-4311　FAX0172-33-8614
ホームページ　http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/